

第2学年1組 生活科学習指導案

1 単元名 「もっと なかよし まちたんけん」

2 指導観

- 本学級の子どもは、1学期の「どきどきわくわくまちたんけん」の学習で、地域の店、公共施設など様々な場所を探検し、地域で生活したり働いたりしている人と出会い、関わることを通して、自分たちの生活との関わりに気づき、もっと知りたい、もう一度会いたい、他の場所にも行ってみたいという関心や親しみをもつことができた。また、見付けたことや気付いたことなどを、友達に伝えることもできた。学習後、探検した場所に保護者と行くなど、地域の様々な人や場所への興味・関心は高まってきている。

しかし、自分たちの生活は地域の様々な人や場所と関わり、自分たちの生活を支えていることや生活を楽しんでいることが分かり、親しみや愛着をもつまでには至っていない。

また、伝え合う活動を通して、自分の気づきを伝え合い、気づきをつなげて考えたり、気づきを深め合ったりするところまで十分に至っていない。

- 本単元は、学習指導要領の内容(3)「地域と生活」(8)「生活や出来事の交流」を受けて設定したものである。本単元のねらいは、地域の場所や地域で生活したり働いたりしている人と関わることを通して、自分たちの生活は地域の様々な人や場所と関わり、自分たちの生活を支えていることや生活を楽しんでいることが分かり、それらに親しみや愛着をもつとともに、人々と適切に接したり、安全に生活したりすることができるようにすることである。校区には、商店街、市民センター、保育所、駅、大学、介護施設、郵便局など、様々な施設があり、そこで生活したり働いたりしている人がいる。学校から近く、子どもが日常的に繰り返し関わるができる。子どもが、繰り返し出かけたり、人々と触れ合ったりすることを通して、地域のよさに気づき、地域への親しみや愛着をもち、地域がより身近なものになると考える。

また、本単元は、1学期の「どきどきわくわくまちたんけん」を受け、「もっとなかよし秋のまちたんけん」「あやめのまちのすてきを伝え合おう」の学習へとつながっていくように位置付けている。年間を通した地域の様々な人や場所との関わりや日常的な関わりを通して、親しみや愛着をもつ人や場所を増やし、積極的に関わり、夢や希望や意欲をもって生活できるようにすることをねらいとしている。

- 指導に当たっては、以下の手立てを講じる。

① 子どもが思いや願いをもって活動し続ける工夫

1学期「どきどき わくわく まちたんけん」では、自分の行きたい場所を3か所探検した。

2学期1回目のまち探検は、1学期の探検や夏休みの体験を基に会いたい人や行きたい場所を決め、自分たちで計画を立て、インタビューしたいことを決めるなどして探検を行うようにする。探検で気付いたことを伝え合う中で、次のめあてをもち、2回目の探検に行くようにする。秋には、3回目の探検を行い、季節の変化にも気付くようにし、「あやめのまちのすてきを伝え合おう」へとつなげていきたい。地域の様々な「ひと・もの・こと」に繰り返し関わることで、自分たちのまちに興味や関心をもつとともに、まちの人々との関わりにも自信をもち、まちの人々とも主体的に関わるができるようにする。また、行きたい場所や会いたい人、表現の方法などは、子どもの思いや願いを生かしながら、柔軟に対応し、子どもの多様性を生かしながら、学びを豊かにしていくようにする。

② 伝え合い交流する活動の工夫

まち探検のたびに、まず、自分の探検を振り返り、見付けたことや聞いたことから、考えたり思ったりしたことをまとめていくようにする。次に、一緒に探検したグループで一人一人の気づきを伝え合いながら、まちの地図をつくるようにする。その中で、自分の気づきと友達の気づきを比べ、似ているところや違うところを見付けたり、自分や友達の気づきのよさに気付いたりすることを通して、まちを自分との関わりで捉え、子どもたち同士で、気づきの質を高

めていくことができるようにする。さらに、「〇〇さんは、どんなことを思って仕事をしているのだろう。」などの新たな気づきが生まれたり、「自分たちのまちは、やさしい人がいっぱいいるよ。」などの自分との関わりに気付いたりするようにする。

まちで親しくなった人のことを他のグループの友達に伝える場面では、その子なりの方法で地域の人々やその場所のよさなどの自分の気づきを伝えることができるようにする。

単元の終末には、親しくなったまちの人に感謝の気持ちを伝えることで、人と上手に関われるようになったなどの自分の成長に気づき、もっと関わりたいという思いをもち、「あやめのまちのすてきを伝え合おう」につなげていくことができるようにしたい。

③ 気づきの質の高まりを実感できる活動の充実

2回目（2学期の1回目）のまち探検では、地域の人々やその場所のよさに気付くようにした。地域の人々の思いや自分との関わりに気付いている子どもの発言を取り上げ、3回目の探検のめあてとして生かし、子どもたちの気づきを増やすようにする。秋には、4回目の探検を行い、季節の変化にも気付くことができるようにする。まち探検を繰り返す度に、子どもたちが知りたいことを見付け、解決し、地域に愛着をもち、気づきの質が高まっていくようにしたい。

まち探検の振り返りでは、見付けたことや聞いたことから、考えたり感じたりしながら、自分の気づきを増やしていくようにする。次に、気付いたことを基に友達同士で伝え合い、考え、自分との関わりで対象を捉えていくようにする。そのことをきっかけとして新たな気づきが生まれり、関係が明らかになったりして、気づきの質を高めていくことができるようにしたい。

学習評価については、毎時間の子どもの発言や行動、カードや作品等から思いや願い、気づきなどをきめ細かく見取り、評価規準に照らして評価をし、個別支援表に記入していく。それを基に、個に応じた適切な言葉かけや働きかけを行うようにする。

3 単元の目標

生活への 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所と繰り返し関わろうとする。 ○ 地域の人々に親しみや愛着をもって、話したり、一緒に活動したりしようとする。
活動や体験についての 思考・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1学期に行ったまち探検での体験を生かして、行きたい場所や関わりたい人を決め、計画を立てたり準備したりすることができる。 ○ まち探検の活動を通して、地域の様々な人や場所が、自分たちの生活とどのように関わっているかを考え、それを素直に表現することができる。 ○ 愛着をもった場所や、親しくなった人などのことを振り返り、伝える内容に応じた伝え方を選んで、自分なりの方法で表現することができる。
身近な環境や自分についての 気づき	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の人々や場所と関わる活動を通して、親しみや愛着をもち、地域の人々やその場所のよさに気付く。 ○ 自分たちの生活は地域の様々な人や場所と関わり、自分たちの生活を支えていることや生活を楽しくしていることに気付く。 ○ 地域のよさや人々と適切に接することができるようになった自分のよさに気付く。

4. 指導計画と評価計画（総時数 15 時間）

主な学習活動・内容	指導・支援上の留意点	評価規準及び評価方法
<p>1 まちたんけんに行く計画をたてよう。 [3]</p> <p>(1) 1学期のまち探検や夏休みに行った地域の場所や会った人について話し合う。 ①</p> <p>(2) まち探検の計画・準備をする。 ②</p>	<p>○ 1学期のまち探検の地図やカードを見たり、夏休みに行った場所や会った人について発表したり、地図に書きこんだりして、「また探検に行きたい。」という思いを高めるようにする。</p> <p>○ 行きたい場所や会いたい人や聞きたいことなどを話し合い、カードに書くことで、その子なりの明確なめあてをもち、探検できるようにする。</p> <p>○ 持ち物、安全に対する約束、地域の人との接し方など、1学期のまち探検で気付いたことを基に、計画・準備ができるよう声かけをする。</p> <p>○ 事前に教師が探検に行く場所や施設、引率の教師や地域の方などに、学習のねらいや子どもとの関わり方、子どもの思いを伝え協力をお願いする。子どもと一緒にできる活動があれば、させてもらうようお願いする。</p>	<p>【関】まちのことや地域の人のことをもっと知りたいという思いをもっている。 (発言分析, 行動観察)</p> <p>【関】明確なめあてをもち、もう一度探検に行こうとしている。 (発言分析, カード分析)</p> <p>【思】相手や場に応じた行動を考え、探検の計画を立てることができる。 (発言分析・カード分析)</p>
<p>2 まちたんけんに行こう。 [4]</p> <p>(1) 行きたい場所や会いたい人別のグループで探検に行く。 ② (2学期 1回目 計2回目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州工業大学 ・九州工大前駅 ・沢見市民センター ・沢見あやめのもり保育所 ・さんろくこどもえん ・戸畑天神郵便局 <p>(2) まち探検をして見付けたことや聞いたこと、考</p>	<p>【安全面への配慮】</p> <p>○ 安全面を第一に考え、引率の教師や保護者などの協力を得るようにする。</p> <p>○ 探検のめあてや思いを子どもと一緒に確認しながら、あいさつをする、用件を伝える、インタビューする、一緒に活動するなど、地域の方と関わるができるよう、声かけをする。</p> <p>○ 地域の方になかなか関われない子どもには、その子の探検のめあてや思いを確認しながら教師と一緒に関わるようにする。</p> <p>○ 地域の様々な人や場所との関わりを通して生まれた気付きや発言をつぶさに見取り、賞賛したり、全体に広げたりする。</p> <p>○ 見付けたことや気付いたことだけでなく、1学期の探検と比べ、</p>	<p>【関】探検のめあてや思いにそって、地域で生活したり働いたりしている人々の地域への思いなどを聞くなど、地域の人々や場所に進んで関わろうとしている。 (発言分析, 行動観察)</p> <p>【思】まち探検をして、思ったこと、気付いたこと、考えた</p>

<p>えたことや感じたことなどをカードに書く。 ①</p> <p>(3) まち探検をして見付けたことや聞いたこと、考えたことや感じたことなどをグループの友達と伝え合う。 ①</p>	<p>考えたことや感じたこと、仲良くなった人のことを表現している子どもを紹介し、自分の生活と関わりに気付くことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1学期と1回目の探検を比べながら、地域の人との会話や触れ合いなどの具体的な関わりを教師の見取りや子どもとの話し合いを通して振り返り、伝えたいことをカードなどに書くよう声かけする。 ○ 伝え合いの中で、友達の気付きと似ているところ、違うところ、よいと思ったところを見付けながら聞くことを確認する。そのことで、気付きを関連付けたり、新しい気付きを得たりすることができるようにする。 ○ 地域の人々への親しみや愛着をもったり、地域の人々の地域への思いに気付いたりしている子どもの発言を全体に広げ、共有できるようにする。 	<p>ことなどをカードなどに表現している。</p> <p>(カード分析, 発言分析)</p> <p>【気】 地域の人々や場所に親しみや愛着をもち、地域の人々やその場所のよさに気付いている。</p> <p>(発言分析, カード分析)</p>
<p>3 もう一度まちたんけんに行こう。 [5]</p> <p>(1) 3回目のまち探検に行く計画・準備をする。 ①</p> <p>(2) 3回目のまち探検に行く。 ②</p> <p>(2学期 2回目 計3回目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州工業大学 ・九州工大前駅 ・沢見市民センター ・あやめの里 ・戸畑リハビリテーション病院 ・戸畑天神郵便局 	<ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの探検や伝え合う活動を通してもらった思いを基に、行きたい場所や会いたい人、したいことを決めるようにすることで、明確なめあてをもち、探検できるようにする。 <p>【安全面への配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 安全面を第一に考え、引率の教師や保護者などの協力を得るようにする。 ○ もち物、安全に対する約束、地域の人との接し方など、1回目のまち探検で気付いたことを基に、計画・準備ができるよう声かけをする。 ○ 事前に教師が探検に行く場所や施設、引率の教師や保護者などに、学習のねらいや子どもとの関わり方、子どもの思いを伝え、協力をお願いする。子どもと一緒にできる活動があれば、させてもらったり、まちに対する思いを話してもらったりするようお願いする。 ○ 探検のめあてや思いを子どもと一緒に確認しながら、関わるこ 	<p>【思】 もう一度行きたい場所や会いたい人、伝え合う活動で聞いたことを基に、行ってみたい場所や会ってみたい人のことを考え、探検の計画・準備をしている。</p> <p>(発言分析, カード分析)</p> <p>【関】 探検のめあてや思いにそって、地域で生活したり働いたりしている人々の地域への思いなどを聞くなど、地域の人々や場所に進んで関わろうとしている。</p> <p>(発言分析, 行動観察)</p>

<p>(3) まち探検をして思ったことや考えたことなどをカードに書く。①</p> <p>(4) まち探検をして見付けたことや気付いたことや考えたことなどをグループの友達と伝え合う。① <本時></p>	<p>できるよう、声かけをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の様々は人や場所との関わりを通して生まれた気付きや発言をつぶさに見取り、賞賛したり、全体に広げたりする。 ○ 探検を振り返り、伝えたいことをカードなどに書くよう声かけする。 ○ 地図づくりの中で、友達の気付きと似ているところ、違うところ、よいと思ったところなどを伝え合い、地図にかきこんでいくようにする。そのことで、地域の場所や人のよさや思い、自分の生活との関わりに気付くことができるようにする。 	<p>【思】地域で生活したり働いたりしている人々の、生活していく上での工夫や地域への思いをカードにかいている。 (発言分析, カード分析)</p> <p>【気】地域の場所や人のよさや思い、自分の生活との関わりに気付いている。 (発言分析, 行動観察)</p>
<p>4 まちで見付けたことや親しくなった人のことを伝え合おう。 [3]</p> <p>(1) 友達に伝えたいことを決め、伝える準備をする。①</p> <p>(2) まちで見付けたことや親しくなった人のことを伝え合う。①</p> <p>(3) 親しくなった地域の人にお礼の気持ちを届けよう。①</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分が一番伝えたいことを決め、自分なりの方法で表現するようにする。 ○ 子ども一人一人の思いにそった表現活動ができるようにカードや写真などを準備しておく。 ○ 発表を聞いた人は、感想を伝え、双方向の活動ができるようにする。 ○ 親しくなった地域の人へ手紙を書く、掃除に行くなど、自分たちなりに感謝の気持ちを表すことができるようにする。 ○ 道徳「4-⑤郷土愛」との関連を図るようにする。 	<p>【思】自分が伝えたい場所や親しくなった人のことを自分なりに表現している。 (発言分析, 行動観察)</p> <p>【思】伝えたいことを紹介し合い、地域の人々と自分達との関わりについて考えている。 (発言分析, カード分析)</p> <p>【気】自分の活動を振り返って、自分のまちに愛着のある場所や親しくなった人が増えたことに気付いている。 (発言分析, カード分析)</p> <p>【思】地域の人々へのお礼の気持ちを自分なりに表現している。 (発言分析, カード分析)</p>

5. 本時の学習 <第三次5時>

於 多目的ホール

(1) 主眼

一緒に探検したグループで自分が見付けたことや聞いたこと、考えたことや感じたことなどを友達と伝え合い、自分たちの地図に書き加える活動を通して、地域の場所や人のよさや思い、自分の生活との関わりに気付くことができるようにする。

(2) 準備

教師：まち探検の写真 気付いたことや絵をかく紙・カード

子ども：まち探検のカード まち探検の地図（グループ）

(3) 展開

主な学習活動・内容	○指導・支援上の留意点【観点】評価規準（評価方法）
<p>1 本時の学習のめあてを確認する。</p>	<p>○ 本時は、まち探検で見付けたことや聞いたこと、考えたことや感じたことを友達と伝え合うことを確認する。</p>
<p>めあて まちたんけんをして気づいたことを友だちとつたえ合い、はっけんをふやそう。</p>	
<p>2 まち探検で見付けたことや聞いたこと、考えたことや感じたことなどをグループの友達と伝え合い、地図に書き加える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">  <p>沢見市民センターでは、ダンスをしたり、赤ちゃんが遊んだりしてたよ。「まちの人が来ているいるなことができるようにしている。」って、館長さんが言ってたよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">  <p>郵便局の〇〇さんは、「郵便局に来た人が喜んでくれるとうれしい。」と言ってたよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">  <p>駅の〇〇さんは、「みんながありがたいと言ってくれると元気が出る。」と教えてくれたよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">  <p>郵便局に行って、チラシを折る仕事を手伝ったよ。大変だったけど、楽しかったよ。〇〇さんは、とってもやさしかったよ。</p> </div> <p>3 活動の振り返りをする。 ・発表する。</p>	<p>○ 一緒に探検をしたグループで活動するようにする。</p> <p>○ 見付けたことや聞いたことだけでなく、自分の感じたことや考えたことも伝え合うようにする。</p> <p>○ 友達の気付きと似ているところ、違うところ、よいと思ったところを見付けながら聞くことを確認する。</p> <p>○ 新たに気付いたことや思ったことなどを♡カードや☆カードや?カードなどに書き、自分たちの地図に加えていくようにする。</p> <p>◎ 伝え合い、まちの地図をつくる活動を通して、地域の人の思いやよさ、自分の生活との関わりに気付くようにする。</p> <p>○ 教師は、各グループに行き、問いかけたり、共感したり、価値付けたりしていく。</p> <p>○ 伝え合いに参加できていない場合には、今まで書いたカードから作成したメモを見て話すように言い、教師と一緒に発表したり、同じグループの子どもと同じ考えのところを見付けたりするようにする。</p> <p>【気】地域の場所や人のよさや思い、自分の生活との関わりに気付いている。（発言分析、行動観察）</p> <p>○ 地域の人々の思いや自分の生活との関わりに気付いている児童が発表するようにし、全体に広げる。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">  <p>沢見市民センターの〇〇さんは、まちの人が気持ちよく使ってもらえるように、たくさんの工夫をしてくれていました。また、行きたいです。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">  <p>九州工大前駅の〇〇さんは、朝9時から次の日の9時まで働いていて大変だけど、みんなのために頑張ってくれていることがわかりました。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">  <p>まち探検に行って、あやめのまちにはやさしい人がたくさんいると思いました。他の場所にも行ってみたいくなりました。</p> </div> </div>	
<p>・次時の活動についての見通しをもつ。</p>	<p>○ 次時は、他のグループの友達に知らせる準備を確認することを確認する。</p>